

## 戦前日本の「精神薄弱」関係資料目録(Ⅲ) — 心理学関係雑誌を中心に —

平 田 勝 政

### A Bibliography on "Mental Deficiency" in Japan before World War II (Ⅲ)

Katsumasa HIRATA

#### はじめに

1. 本目録は、戦前の心理学関係雑誌の中に散在している「精神薄弱」関係資料をピックアップし、それを年代順に編成したものである。この作業は、下記の①②に示す教育雑誌、社会事業雑誌の目録作成に続いておこなうもので、わが国における「精神薄弱」概念の成立過程を解明していく基礎作業の一環である。

①戦前日本の「精神薄弱」関係資料目録(Ⅰ)—教育雑誌を中心に—「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第39号 pp.107～131 1990年6月

②戦前日本の「精神薄弱」関係資料目録(Ⅱ)—社会事業関係雑誌を中心に—「長崎大学教育学部教育科学研究報告」第45号 pp.131～138 1993年6月

2. 先行の目録としては、高橋智氏による「戦前の主要な心理学雑誌における『精神薄弱』関係文献目録」(「日本福祉大学紀要」第81号 1990年3月 後に茂木・高橋・平田共著『わが国における「精神薄弱」概念の歴史的研究』所収 pp.322-361 多賀出版 1992年)が存在している。それを参考にしつつも、筆者なりの選択と新たな雑誌(下記の雑誌⑩⑬～⑮など)も対象に加えて整理を試みた。作成にあたり、牛島義友編「邦文児童心理学研究文献目録」(「教育」第5巻第8号 pp.175-197 1937年)や「心理学研究」第10巻第3号(1935年)より掲載の「心理学関係文献蒐録」も参考にした。
3. 資料の選択にあたっては、原則として「精神薄弱」問題を主題とした論文・資料を中心にし、雑報・彙報等の記事は、基本的に省いた。
4. 本目録が収録の対象とした心理学関係雑誌を列举すると、下記のとおりである。

①心理学研究会編輯「心理研究」第1号(1912.1)～第165号(1925.10)

②京都帝国大学心理学研究室「日本心理学雑誌」第1巻第1号(1917.7)～第3巻第3・4号(1923.3)

③東京帝国大学心理学研究室内日本心理学会編輯「日本心理学雑誌」第1巻第1冊(1923.1)～第3巻第4冊(1925.12)

④日本心理学会編輯「心理学研究」第1巻第1輯(1926.4)～第18巻第6輯(1944.12)

⑤日本心理学会(城戸幡太郎編輯)『心理学論文集(一)～(六)』(1928.5～1938.4) 岩波書店

⑥東京高等師範学校心理学教室編輯→東京文理科大学心理学教室編「教育心理研究」第1巻第1号(1926.4)～第15巻第12号(1940.12)

⑦広島文理科大学心理学教室編輯「応用心理」第1巻第1号(1931.4)～第2巻第6号(1932.6)  
→応用心理研究会「応用心理研究」第1巻第1号(1932.10)～第5巻(1939.9)

- ⑧「実験心理学研究」第1巻第1輯(1934.4)～第6巻第1・2輯(1941.11)
- ⑨労働科学研究所「労働科学研究」第1巻第1号(1924.7)～第21巻第7号(1944.9)\*1940年1月より「産業医学」,さらに「労働科学」と誌名変更
- ⑩「児童」第1巻第1号(1917.5)～第2巻第2号(1918.2)→改題「子宝」第2巻第3号(1913.3)～第5号(1918.5)→後続雑誌「親の為」第1巻第1号(1918.11)～第7巻第3号(1922.9)→改題「幼児之研究」第1巻第1号(1922.10)～第2巻第9号(1924.9)
- ⑪「児童研究所紀要」第1巻(1918.5)～第17巻(1937.9)
- ⑫愛知児童研究所「愛知県児童研究所紀要」第1輯(1926.12)～第6輯(1931.12)
- ⑬神戸市立児童相談所「神戸市立児童相談所紀要」第1巻(1924)～第11巻(1935.3)
- ⑭兵庫県立児童研究所「兵庫県立児童研究所報告」第1輯(1932.3)～第8輯(1941.9)
- ⑮「個性研究」第1巻(1932)～第2巻(1933)
- ⑯その他,大学紀要類の論文も対象に含めた。なお、「兵庫県教育心理研究会紀要」は、「兵庫教育」掲載論文の抜刷集であるため、今後予定している「地方教育雑誌編」においてとりあつかうこととする。

5. 以上にあげた心理学関係雑誌によって、戦前の心理学分野における「精神薄弱」関係資料の大部分は網羅しえたと考える。この作業の必要性・重要性を自覚しその調査・収集作業を開始して十数年になろうとするが、筆者の怠慢と様々な制約もあって所蔵不明のままいまだに収集しえない資料もある。課題は残るが、上記の目録とともに広く参考にしていただき、様々な分析視点から研究が進展しこの分野の研究の厚みが増すのを念願する次第である。最後に文献の収集にお世話になった全国の図書館と方々に心より感謝いたします。(1997.3.15)

No	著者名	論文・資料名	誌名・巻号	頁	発行年月	備考
1	松本亦太郎	優良種族の消長	「心理研究」第1号(第1巻第1冊)	1-32	1912(M.45)-1	
2	中島 泰蔵	児童の個性型	「心理研究」第17号(第3巻第5冊)	658-671	1913(T.2)-5	
3	大槻 快尊	児童に現われた精神異常の一例	「心理研究」第22号(第4巻第4冊)	403-408	1913(T.2)-10	
4	記者	児童研究の近況	「心理研究」第24号(第4巻第6冊)	604-615	1913(T.2)-12	
5	寺田 精一	所謂悖徳狂に就いて	「心理研究」第28号(第5巻第4冊)	307-331	1914(T.3)-4	
6	久保 良英	マ州立低能者学校を観る	「心理研究」第29号(第5巻第5冊)	77-82	1914(T.3)-5	
7	岩井勝二郎	数の理解に関する心理学と精神病理学	「心理研究」第42号(第7巻第6冊)	779-789	1915(T.4)-6	
8	斎藤茂三郎	遺伝と境遇	「心理研究」第45号(第8巻第3冊)	250-263	1915(T.4)-9	
9	記者	児童研究の近況	「心理研究」第48号(第8巻第6冊)	665-669	1915(T.4)-12	
10	絶景生	浮浪と遺伝との特殊関係	「心理研究」第54号(第9巻第6冊)	658-662	1916(T.5)-6	
11	久保 良英	ヴァインランド低能児学校参観記	「心理研究」第60号(第10巻第6冊)	92-100	1916(T.5)-12	
12	三田谷 啓	特殊教育論	「心理研究」第64号(第11巻第4冊)	62-73	1917(T.6)-4	
13	小熊虎之助	精神病学に於ける人本主義的運動(上)(下)	「心理研究」第73号・第74号(第13巻第1冊・第2冊)	76-90 177-192	1918(T.7)-1 1918(T.7)-2	
14	三田谷 啓	智能と身体との関係	「児童研究所紀要」第1巻	121-155	1918(T.7)-5	
15	松月 秀雄(抄)	正常児及び精神薄弱児に於ける練習と其転移	「児童研究所紀要」第1巻	245-249	1918(T.7)-5	
16	上野 陽一	社会事業と心理学	「心理研究」第79号(第14巻第1冊)	49-57	1918(T.7)-7	

No	著者名	論文・資料名	誌名・巻号	頁	発行年月	備考
17	城戸幡太郎 (抄)	精神薄弱者と遺伝	「児童研究所紀要」第2巻	208-211	1918(T. 7)-12	
18	松尾 長造 (抄)	精神的発達不均斉の現象	「児童研究所紀要」第2巻	211-213	1918(T. 7)-12	
19	松月 秀雄 (抄)	寄食児の精神状態の研究	「児童研究所紀要」第2巻	216-220	1918(T. 7)-12	
20	斎藤茂三郎	社会改良と優生学	「心理研究」第91号(第16巻第1冊)	68-85	1919(T. 8)-7	
21	久保 良英	低能児の進歩の割合	「児童研究所紀要」第3巻	331-332	1919(T. 8)-8	
22	淡路円治郎	失業者の精神検査(上)(下)	「心理研究」第104号・第105号	163-174 220-229	1920(T. 9)-8 1920(T. 9)-9	
23	久保 良英	機会学級(低能児学級)の教授要綱(1)	「親の為」第3巻第3号	34-36	1920(T. 9)-9	
24	久保 良英	機会学級(低能児学級)の教授要綱(2)	「親の為」第3巻第4号	32-33	1920(T. 9)-10	
25	久保 良英	機会学級(低能児学級)の教授要綱(3)	「親の為」第3巻第5号	32-34	1920(T. 9)-11	
26	川田貞治郎	低能児と其の治療教育	「親の為」第4巻第1号	24-28	1921(T. 10)-1	
27	和田 秀一	救はれた劣等児	「親の為」第4巻第2号	30-32	1921(T. 10)-2	
28	泉二 新熊	刑事政策と教育主義	「心理研究」第111号	183-214	1921(T. 10)-3	
29	和田 秀一	父母の年齢と優秀児及劣等児	「親の為」第4巻第5号	17-20	1921(T. 10)-5	
30	マアチン・ バア博士	低能児発生の社会的予防	「心理研究」第114号	459-461	1921(T. 10)-6	
31	川田貞治郎	精神薄弱児の生理及心理	「親の為」第5巻第3号	8-12	1921(T. 10)-9	
32	栗原 信一	低能児の心理と教育(1)	「親の為」第5巻第4号	7-12	1921(T. 10)-10	
33	栗原 信一	精神的異常の科学的研究 —低能児の心理と教育(2)—	「親の為」第5巻第5号	13-18	1921(T. 10)-11	
34	高峰 博	幼少年者の個性と医学との関係	「親の為」第5巻第6号	18-31	1921(T. 10)-12	
35	栗原 信一	低能児とは何を意味するのか —低能児の心理と教育(3)—	「親の為」第6巻第1号	10-14	1922(T. 11)-1	
36	栗原 信一	低能児の心理的標準 —低能児の心理と教育(4)—	「親の為」第6巻第2号	14-17	1922(T. 11)-2	
37	青木誠四郎	就学児童の心身発達に関する研究 (主として幼児期の発育と知能の 発達との関係について)	「児童研究所紀要」第5巻	7-12	1922(T. 11)-3	
38	栗原 信一	低能児の心理的認定法 —低能児の心理と教育(5)—	「親の為」第6巻第4号	12-15	1922(T. 11)-4	
39	栗原 信一	低能児の心理的認定法 —低能児の心理と教育(6)—	「親の為」第6巻第5号	14-18	1922(T. 11)-5	
40	矢田 篤	ターマン氏の低能心理研究	「心理研究」第126号	416-434	1922(T. 11)-6	
41	栗原 信一	低能児は種類の相違に非ず —低能児の心理と教育(7)—	「親の為」第6巻第6号	9-14	1922(T. 11)-6	
42	佐久間ふき子	知能検査の功過	「心理研究」第127号	467-484	1922(T. 11)-7	
43	栗原 信一	低能児と発育阻止 —低能児の心理と教育(8)—	「親の為」第7巻第1号	10-14	1922(T. 11)-7	
44	川田貞治郎	言語障碍治療の一例	「親の為」第7巻第2号	31-33	1922(T. 11)-8	
45	栗原 信一	低能児の能力上の相違 —低能児の心理と教育(9)—	「親の為」第7巻第3号	14-20	1922(T. 11)-9	
46	杉田 直樹	低能児に認めらるる身体的変質徴 候に就て(日暮里愛憐園に於ける)	「児童研究所紀要」第6巻	257-277	1922(T. 11)-11	

No	著者名	論文・資料名	誌名・巻号	頁	発行年月	備考
47	島田 道隆	智能査定と吾人の反省	「児童研究所紀要」第6巻	361-370	1922(T.11)-11	
48	久保 良英 (抄)	智能指数は恒常的か	「児童研究所紀要」第6巻	374-377	1922(T.11)-11	
49	杉田 直樹	児童の変質徴候	「幼児之研究」第1巻第2号	7-11	1922(T.11)-11	
50	川田貞治郎	白痴児の教育	「幼児之研究」第1巻第4号	37-40	1923(T.12)-1	
51	青木誠四郎 (抄)	知能の個人差と教育の限界 (フランク・フリーマン)	「心理研究」第137号	6-19	1923(T.12)-5	
52	松尾 文作	児童の智能査定報告	「幼児之研究」第1巻第8号	14-20	1923(T.12)-5	
53	三宅 鑑一 丸木 清	低格者の智能検査に就て	「児童研究所紀要」第7巻	215-260	1923(T.12)-9	
54	大熊 泰治	低能児学級に行へる知能測定	「児童研究所紀要」第7巻	261-272	1923(T.12)-9	
55	奥村 嘉平	特別学級教授の実際に就て	「神戸市立児童相談所紀要」第1巻	34-59	1924(T.13)-2	
56	尾崎 清次	特別学級児童の身体的特徴並に臨床的所見	「神戸市立児童相談所紀要」第1巻	59-67	1924(T.13)-2	
57	岡島 善次 ・山村 済	特別学級児童の知能検査報告	「神戸市立児童相談所紀要」第1巻	68-76	1924(T.13)-2	
58	黒田 源次	特別学級児童の調査結果について	「神戸市立児童相談所紀要」第1巻	76-80	1924(T.13)-2	
59	杉田 直樹	幼児の身心發育遲滞に就て	「幼児之研究」第2巻第7号	19-22	1924(T.13)-7	
60	浅野 成俊	カリカック家族における低能の遺伝	「心理研究」第164号	192-209	1925(T.14)-9	
61	杉田 直樹	感化院収容児童に関する医学的調査の成績に就て	「児童研究所紀要」第9巻	325-362	1926(T.15)-5	
62	無署名(抄)	疑似精神薄弱児童に就て	「児童研究所紀要」第9巻	87-91	1926(T.15)-5	
63	無署名(抄)	特別学級について	「児童研究所紀要」第9巻	91-100	1926(T.15)-5	
64	植崎浅太郎	個性発達の心理と教育(四)	「教育心理研究」第1巻第4号	264-283	1926(T.15)-7	
65	丸山 良二	低能児の意義	「教育心理研究」第1巻第6号	517-528	1926(T.15)-9	
66	寺沢 巖男	低能児の判定	「教育心理研究」第1巻第7号	616-629	1926(T.15)-10	
67	丸山 良二	学級編制の問題	「教育心理研究」第1巻第9号	739-760	1926(T.15)-12	
68	城戸幡太郎	児童に於ける特殊なる知能の構造	「心理学研究」第1巻第6輯	909-933	1926(T.15)-12	
69	波多野完治	クラブレード「学校児童素質検査法」	「心理学研究」第1巻第6輯	965-974	1926(T.15)-12	
70	石井 俊瑞	不良少年の精神欠陥に就いて	「教育心理研究」第2巻第1号	1-13	1927(S.2)-1	
71	丸山 良二	低能児の意義	「愛知県児童研究所紀要」第2輯	21-31	1927(S.2)-10	
72	丸山 良二	学級編制の問題	「愛知県児童研究所紀要」第2輯	32-50	1927(S.2)-10	
73	尾崎 清次	成績不良児の身体的特徴並に臨床的所見	「神戸市立児童相談所紀要」第4巻	1-77	1928(S.3)-5	
74	内田勇三郎	低能児の心理研究	「心理学論文集」(一)	104-106	1928(S.3)-5	
75	岩村 通世	犯罪原因の統計的觀察	「心理学論文集」(一)	155-159	1928(S.3)-5	
76	島田 教治	名古屋市内長期欠席児童調査	「愛知県児童研究所紀要」第3輯	151-167	1928(S.3)-6	
77	丸山 良二	精神測定の発達(未定稿)	「愛知県児童研究所紀要」第3輯	335-355	1928(S.3)-6	
78	丸山 良二	賢愚と能力の不平等	「教育心理研究」第3巻第8号	517-527	1928(S.3)-8	
79	日下部重太郎	異常児の三伝説	「教育心理研究」第4巻第1号	23-37	1929(S.4)-1	
80	丸山 良二	児童の個性曲察(下)	「教育心理研究」第4巻第3号	213-224	1929(S.4)-3	
81	増田 幸一	性能を図示する方法(二) —プロフィール法—	「教育心理研究」第4巻第4号	267-282	1929(S.4)-4	

No	著者名	論文・資料名	誌名・巻号	頁	発行年月	備考
82	丸山 良二	不良児童の調査	「教育心理研究」第4巻第4号	283-294	1929(S. 4)-4	
83	内田勇三郎	痴愚の心理	「心理学論文集」(二)	294-296	1929(S. 4)-12	
84	石川七五三	不良児の智能的特色	「愛知県児童研究所紀要」第4輯	292-310	1929(S. 4)-12	
85	神谷みち子	少年不良化の径路	「愛知県児童研究所紀要」第4輯	382-434	1929(S. 4)-12	
86	正木 正	富士川游「教育病理学」	「心理学研究」第5巻第6輯	955-956	1930(S. 5)-12	
87	松本 金寿	ビーベル「精神薄弱児の思考研究法としての探索的会話」	「心理学研究」第6巻第2輯	289-291	1931(S. 6)-4	
88	加藤 正英	一般知能検査に表はれたる精神薄弱の特徴	「神戸市立児童相談所紀要」第7巻	31-51	1931(S. 6)-4	
89	沢田 慶輔	富士川游「異常児童性各研究」	「心理学研究」第6巻第5輯	778-779	1931(S. 6)-10	
90	山下 俊郎	アルグランデル「児童の学業成績及び知能に及ぼす経済的環境の影響」	「心理学研究」第6巻第5輯	784-786	1931(S. 6)-10	
91	川田貞治郎	白痴の本質に就いて	「心理学論文集」(三)	423-427	1931(S. 6)-10	
92	竹井 健蔵	児童の精神発達に対する遺伝と環境の問題の一考察	「心理学論文集」(三)	443-451	1931(S. 6)-10	
93	神谷みち子	精神薄弱児の遺伝的・環境的条件の調査	「愛知県児童研究所紀要」第6輯	581-605	1931(S. 6)-12	
94	近藤 貞次	ロブソン「精神遅滞に於ける社会的要素」	「心理学研究」第7巻第1輯	182	1932(S. 7)-2	
95	霜島 喜逸	犯罪少年の体型足型及び精神病学的考察	「児童研究所紀要」第14巻	121-145	1932(S. 7)-2	
96	田沼 作	累犯者と精神異常	「兵庫県立児童研究所報告」第1輯	51-68	1932(S. 7)-3	
97	川田貞治郎	ガッダード博士に師事して	「応用心理」第2巻第4号	305-308	1932(S. 7)-4	
98	近藤 貞次	小学校に於ける心理学的調査	「教育心理研究」第7巻第9号	612-627	1932(S. 7)-9	
99	歌川 琴子	低能児K子幼稚園前期の観察録(1)~(4)	「個性研究」第1巻	(1) 212-217 (2) 266-270 (3) 331-335 (4) 392-400	1932(S. 7)-12	
100	三宅徳三郎 橋本 敏雄	所謂劣等児にける血液型と気質との関係に就いて	「個性研究」第1巻	271-286	1932(S. 7)-12	
101	園原 太郎	智能検査に現れたる劣等児の一傾向	「児童研究所紀要」第15巻	457-477	1933(S. 8)-3	
102	池田金次郎	異常児童と遺伝関係	「応用心理研究」第1巻第3号	369-380	1933(S. 8)-6	
103	林 やす子	低能児S子の観察録(1)~(4)	「個性研究」第2巻	(1) 53-58 (2) 118-121 (3) 185-188 (4) 322-325	1933(S. 8)-6	
104	川田貞治郎	白痴の言語障礙の病理に就て	「心理学論文集」(四)	225-228	1933(S. 8)-10	
105	守安 直孝	知能と学業成績の相關的研究	「教育心理研究」第8巻第11号	828-833	1933(S. 8)-11	
106	寺沢 巖男	精神衛生と心理学	「教育心理研究」第9巻第4号	249-256	1934(S. 9)-4	
107	山下 俊郎	ザレル「英才児学級並びに補助学校に於ける調査」	「心理学研究」第9巻第2輯	335	1934(S. 9)-4	
108	梅津 八三	ゴチャルト「児童に見られる如き行為の構造」	「心理学研究」第9巻第3輯	546-550	1934(S. 9)-6	
109	無署名	補助学童の物質的因果的思考	「児童研究所紀要」第16巻	69-73	1934(S. 9)-6	
110	無署名	低能児の機械的能力	「児童研究所紀要」第16巻	73-74	1934(S. 9)-6	
111	無署名	ロールシャッハのテストの精神薄弱	「児童研究所紀要」第16巻	75-80	1934(S. 9)-6	

No	著者名	論文・資料名	誌名・巻号	頁	発行年月	備考
112	林 蘇東	精神薄弱児普通児のピアジェ法 左右弁別力比較	「東洋大学心理学研究報告集」2		1934(S. 9)	親
113	長野 幸雄	一痴愚児童に於ける拒絶症状の観察	「東洋大学心理学研究報告集」2		1934(S. 9)	親
114	川田貞治郎	新に精神薄弱児の診断と分類と治療	「応用心理研究」第2巻第3号	15	1934(S. 9)-8	
115	久保 良英	精神薄弱児の研究	「応用心理研究」第3巻第1号	117-129	1934(S. 9)-11	
116	前川 誠一 遠藤 汪吉	大阪式知能テストに於ける通常児 と精神薄弱児の相違	「労働科学研究」第12巻第1号	142-144	1935(S. 10)-1	
117	坂本 時雄	保護児童の知能発達に就て	「労働科学研究」第12巻第1号	161-163	1935(S. 10)-1	
118	園原 太郎	劣等児の名称に対する一提案	「労働科学研究」第12巻第1号	163-164	1935(S. 10)-1	
119	前川 誠一 遠藤 汪吉	智能検査法による普通児と精神薄弱 児との比較	「兵庫県立児童研究所報告」第2輯	69-88	1935(S. 10)-3	
120	磯貝信太郎	精神薄弱児	「教育心理研究」第10巻第5号	416-432	1935(S. 10)-5	
121	久保 良英	人格の力学説と精神薄弱児	「精神科学」第10年第3巻	413-429	1935(S. 10)-7	
122	藤本 克己	精神薄弱児の自然観	「教育心理研究」第10巻第8号	650-652	1935(S. 10)-8	
123	藤本 克己	知能と体格との関係	「教育心理研究」第10巻第9号	801-804	1935(S. 10)-9	
124	高峰 博	諸種の精神異常者の瞬間認識能力	「教育心理研究」第10巻第9号	804-808	1935(S. 10)-9	
125	川田貞治郎	手掌の診断的価値	「心理学論文集」(五)	130-134	1935(S. 10)-12	
126	菊池 省三	保護児童研究結果報告(一)	「心理学論文集」(五)	138-142	1935(S. 10)-12	
127	山口 良一	知能階級より見たる特殊性能について	「教育心理研究」第11巻第2号	101-106	1936(S. 11)-2	
128	藤本 克己 板橋 幸雄	智能と出生月との関係	「教育心理研究」第11巻第2号	106-110	1936(S. 11)-2	
129	青木誠四郎 二宮 綾子	読方劣等児の読方について(第二報) —大意の把握に関連して見た読方の構造—	「教育心理研究」第11巻第2号	121-131	1936(S. 11)-2	
130	川田貞治郎	見出されざる応用心理学としての考鑿	「教育心理研究」第11巻第2号	135-137	1936(S. 11)-2	
131	林 蘇童	心理臨床上から観た反社会性児童 の予後考察の一	「教育心理研究」第11巻第2号	150-152	1936(S. 11)-2	
132	川田貞治郎	白痴児の数発達理論的研究	「応用心理研究」第4巻第2号	196-200	1936(S. 11)-11	
133	吉沢 安雄 城戸幡太郎	或る低能児に試みた算術教授とその 効果について	「応用心理研究」第4巻第2号	201-202	1936(S. 11)-11	
134	赤松 保羅 内田勇三郎 戸川 行男	一技能に優秀な精神薄弱児の臨床 例	「PHILOSOPHIA 哲学年誌」 第6巻	185-218	1936(S. 11)-11	
135	吉益 脩夫	少年犯罪と精神薄弱	「教育心理研究」第12巻第3号	229-232	1937(S. 12)-3	
136	小沢 一	英、米、独並に我邦の精神薄弱者保護の現況	「教育心理研究」第12巻第3号	232-234	1937(S. 12)-3	
137	川田貞治郎	Die motorische Schulung に顕 はれたる初心の心理学的意義	「教育心理研究」第12巻第3号	246-251	1937(S. 12)-3	
138	長野 幸雄 鈴木 久雄	精神薄弱児に対する異常記憶の一例	「教育心理研究」第12巻第3号	252-254	1937(S. 12)-3	
139	喜田 正春	東京市補助学級児童の卒業後の状 況調について	「教育心理研究」第12巻第4号	344-345	1937(S. 12)-4	
140	柳田 重久	卒業期に於ける劣等児の読方能力	「教育心理研究」第12巻第7号	591-594	1937(S. 12)-7	
141	喜田 正春	最近七ヶ年に亘る本校尋一児童の 知能検査の成績	「教育心理研究」第12巻第7号	602-607	1937(S. 12)-7	
142	林 蘇童	治療教育としての「技法」の発達(報告第一)	「教育心理研究」第12巻第7号	609-611	1937(S. 12)-7	

No	著者名	論文・資料名	誌名・巻号	頁	発行年月	備考
143	鈴木 久雄 堀口 明	精神薄弱児に於ける珠算学習の過程とその効果	「教育心理研究」第12巻第7号	612-614	1937(S.12)-7	
144	岸本 鎌一	不良児童の研究	「児童研究所紀要」第17巻	255-347	1937(S.12)-9	
145	前川 誠一	智能の優劣と生活の諸条件との関係	「兵庫県立児童研究所報告」第5輯	1-50	1938(S.13)-3	
146	林 蘇童	教育的治療としての「技法」の発達（報告第二）	「教育心理研究」第13巻第4号	283-286	1938(S.13)-4	
147	守屋 光雄	精神薄弱児に関する検査	「教育心理研究」第13巻第10号	764-769	1938(S.13)-10	
148	水野 重幸	一精神薄弱児に於ける失書失読性症状	「教育心理研究」第13巻第10号	769-773	1938(S.13)-10	
149	松井 三雄 小林 晃夫	劣等児の運動能力	「教育心理研究」第13巻第10号	789-791	1938(S.13)-10	
150	園原 太郎	乳児の栄養障害と精神発達との関係	「教育心理研究」第13巻第10号	805-810	1938(S.13)-10	
151	前川 誠一	精神薄弱児と生活の諸条件との関係	「教育心理研究」第13巻第10号	811-813	1938(S.13)-10	
152	林 蘇童	精神薄弱児に対する意思及び注意の一練習法	「教育心理研究」第13巻第10号	813-817	1938(S.13)-10	
153	竹田 俊雄	精神薄弱児と教育相談所の機能	「教育心理研究」第13巻第10号	817-821	1938(S.13)-10	
154	長野 幸雄	癲癇少年の精神作業について	「教育心理研究」第13巻第10号	842-844	1938(S.13)-10	
155	三木 安正	精神薄弱児に於ける知能検査の二三の問題	「心理学研究」第13巻第6輯	564-571	1938(S.13)-12	
156	藤本 克己	ハイニス氏常数について	「教育心理研究」第14巻第3号	174-177	1939(S.14)-3	
157	小川 三郎	多腺性「ホルモン」剤による精神的異常児童の治療成績	「教育心理研究」第14巻第3号	185-186	1939(S.14)-3	
158	川田貞治郎	「カズ」の欠陥症と誤算の病理	「教育心理研究」第14巻第3号	204-210	1939(S.14)-3	
159	森田 規矩	栄養改善が精神異常児の発育に及ぼす影響に就て	「教育心理研究」第14巻第4号	254-261	1939(S.14)-4	
160	後藤 岩男	学業成績不進児に関する二三の問題	「教育心理研究」第14巻第5号	356-369	1939(S.14)-5	
161	遠藤 辰雄	精神薄弱児の智能に関する一実験	「心理学研究」第14巻第3輯	182-203	1939(S.14)-6	
162	磯貝信太郎	精神薄弱児の力動論	「教育心理研究」第14巻第7号	556-575	1939(S.14)-7	
163	大西 憲明	精神薄弱児の研究—1 カード分類作業に於ける心構えへの変容	「心理学研究」第14巻特輯	63-64	1939(S.14)-8	
164	鈴木 舜一	知能劣等児童と学事遅滞児童について	「心理学研究」第14巻特輯	69-70	1939(S.14)-8	
165	森 健蔵	心理学と児童保護問題	「心理学研究」第14巻特輯	70-71	1939(S.14)-8	
166	竹田 俊雄	異常児童検出の一つの試み	「心理学研究」第14巻特輯	71-72	1939(S.14)-8	
167	川田貞治郎 水野 重幸	精神薄弱児に於ける情調表出(その一)	「心理学研究」第14巻特輯	72-73	1939(S.14)-8	
168	藤本 克己	精神薄弱児の研究	「心理学研究」第14巻特輯	73-75	1939(S.14)-8	
169	奥田 三郎	精神薄弱児の生活能力	「心理学研究」第14巻特輯	111-112	1939(S.14)-8	
170	青木誠四郎	精神薄弱児の学習限界について	「心理学研究」第14巻特輯	112-113	1939(S.14)-8	
171	山下 俊郎	教育相談に於ける精神薄弱児の問題	「心理学研究」第14巻特輯	113-114	1939(S.14)-8	
172	藤本 克己	精神薄弱児収容施設に於ける諸問題	「心理学研究」第14巻特輯	114-115	1939(S.14)-8	
173	日本心理学会(会長・松本亦太郎)	精神薄弱者保護法制並に之か保護施設拡充方要望に関する件建議(1939. 6. 29付提出)	「心理学研究」第14巻特輯	119-123	1939(S.14)-8	
174	日本心理学会(会長・松本亦太郎)	精神薄弱者に関する教育法規制定並に之か教育施設拡充方要望に関する件建議(1939. 7. 26付提出)	「心理学研究」第14巻特輯	123-126	1939(S.14)-8	

No.	著者名	論文・資料名	誌名・巻号	頁	発行年月	備考
175	日本心理学会(会長・松本亦太郎)	犯罪を為し又は犯罪を為す虞ある精神薄弱者を対象とする保護施設の整備拡充方要望に関する件建議(1939. 7. 26付提出)	「心理学研究」第14巻特輯	126-127	1939(S. 14)- 8	
176	川田貞治郎	夜尿症児の教育	「教育心理研究」第14巻第 9 号	662-666	1939(S. 14)- 9	
177	牛島 義友 長沢 行 住田 篤	精神薄弱児に於ける運動機能の練習	「教育心理研究」第14巻第 9 号	666-669	1939(S. 14)- 9	
178	牛島 義友 松永 一郎	精神薄弱児に於ける作業学習	「教育心理研究」第14巻第 9 号	669-673	1939(S. 14)- 9	
179	松本 金寿	犯罪少年の社会的予後(上)(下)	「教育心理研究」第14巻第11号・第12号	829-841 909-920	1939(S. 14)-11 1939(S. 14)-12	
180	吉田三四郎	精神薄弱児の人格構造(その一)	「教育心理研究」第14巻第11号	863-881	1939(S. 14)-11	
181	吉田三四郎	精神薄弱児の人格構造(その二)	「教育心理研究」第15巻第 2 号	130-155	1940(S. 15)- 2	
182	長野 幸雄	知能の差異が児童の交友に及ぼす影響	「教育心理研究」第15巻第 3 号	174-177	1940(S. 15)- 3	
183	吉田三四郎	数の逆唱に就て	「教育心理研究」第15巻第 3 号	199-203	1940(S. 15)- 3	
184	後藤 岩男	精神薄弱児の命令の遂行	「教育心理研究」第15巻第 3 号	206-207	1940(S. 15)- 3	
185	柳田 重久	精神薄弱児の教育記録	「教育心理研究」第15巻第 3 号	207-211	1940(S. 15)- 3	
186	水野 重幸	施設収容児童の勤労に関する考察	「教育心理研究」第15巻第 3 号	211-213	1940(S. 15)- 3	
187	三木 安正 伊藤 良子	精神薄弱児の言語生活	「教育心理研究」第15巻第 9 号	707-708	1940(S. 15)- 9	
188	後藤 岩男	精神薄弱児の思考	「教育心理研究」第15巻第 9 号	708-709	1940(S. 15)- 9	
189	松岡真太郎	癲癇性小発作を伴ふ精神薄弱者と犯罪との関係	「教育心理研究」第15巻第 9 号	709-710	1940(S. 15)- 9	
190	小川 三郎	心身発育の相關的研究—異常乳幼児に就て—	「教育心理研究」第15巻第 9 号	711	1940(S. 15)- 9	
191	後藤 岩男	図形分割検査の結果から見た幼児の思考	「教育心理研究」第15巻第10号	809-820	1940(S. 15)-10	
192	吉田三四郎	精神薄弱児の機能分析の問題と方法	「教育心理研究」第15巻第11号	889-897	1940(S. 15)-11	
193	入沢 寿夫 平尾 靖	矯正院に於ける教育的処遇の一考察	「心理学研究」第16巻第 2 輯	75-76	1941(S. 16)- 6	
194	川田貞治郎	心練学の心理学的意義	「心理学研究」第16巻第 2 輯	78-79	1941(S. 16)- 6	
195	川田貞治郎	将来に於ける精神薄弱者の大収容所の運用	「心理学研究」第16巻第 5・6 輯	407-408	1941(S. 16)-12	
196	林 義順	最簡便なる智能三歳未満検出の一法案	「心理学研究」第16巻第 5・6 輯	408-409	1941(S. 16)-12	
197	宮田 義雄 本明 寛	精神薄弱児に於けるロールシャッハ検査象	「心理学研究」第16巻第 5・6 輯	409-410	1941(S. 16)-12	
198	宮田 義雄	正常児及精神薄弱児に於けるロールシャッハ検査像の差異	「早稲田大学哲学年誌」第11巻	171-194	1941(S. 16)-12	
199	牛島 義友 永松 一郎	精神薄弱児に於ける作業効果に就いて	「立教大学哲学科年報」第 4 輯	71-106	1942(S. 17)- 6	
200	小川 三郎	精神機能優秀化の研究(薬剤により性格が如何に優秀化するかについて)	「心理学研究」第16巻第 3・4 輯	67	1943(S. 18)- 1	
201	宮田 義雄 本明 寛	精神薄弱児に於けるロールシャッハ検査象(続報)	「心理学研究」第17巻第 3・4 輯	69-70	1943(S. 18)- 1	
202	南條 正明	特殊児童審査結果の整理と考察—中間報告—	「心理学研究」第17巻第 5・6 輯	536-538	1943(S. 18)- 4	